

# 朝鮮半島南部の蜻蛉相一資料

相坂 耕作

日本の蜻蛉相を調査するには近くの朝鮮半島、台湾など重要な位置にあることは今さら言うまでもない。しかし、この地域からはあまり知見が出てこず不十分そのものである。

筆者は僅かな記録ではあるが朝鮮半島南部韓国において、1993年蜻蛉を観察した。そのおりの記録と、生態写真専門の虫友、壺坂孝一氏が撮っているものを提供してもらい資料として報告しておく。

## Zygoptera 均翅類

### I. Agrionidae イトトンボ科

*Ischnura asiatica* (BRAUER)

アジアイトトンボ ♂♀ 京畿道加平 10-VII-1993 観察  
最も普通種のように水溜まりに多数飛んでいた。

### II. Calopterygidae カワトンボ科

*Calopteryx japonic* SELYS

アオハダトンボ ♂ 京畿道ハド・クアム 10-VII-1993 観察  
朝鮮半島より最初に知られたトンボの種類として有名。

*Calopteryx atrata* SELYS

ハグロトンボ ♂♀ 京畿道ハド・クアム 10-VII-1993 観察  
" トクヘン 10-VII-1993 観察  
川すじに多く、極めて普通にみられた。

## Anisoptera 不均翅亜目

### III. Libellulidae トンボ科

*Deiella phaon* SELYS

コフキトンボ ♂ 京畿道九里市西端 10-VII-1993 観察  
広い道路沿いの何でもない空き地にみられた。

*Pantala flavescens* FABRICIUS

ウスバキトンボ ♂♀ 京畿道加平明地山 10-VII-1993 観察  
" 九里市大谷 10-VII-1993 観察  
" 九里市西端 10-VII-1993 観察  
" ソウル市 11-VII-1992 撮影



IV. Corduliidae エゾトンボ科

Macromia

コヤマトンボ s.p.

京畿道ハド・クアム 10-VII-1993 観察

中流の川に沿って広がる平たい空き地に数多く上空を巡回していた。日本のオオヤマトンボやコヤマトンボの飛びかたではない。



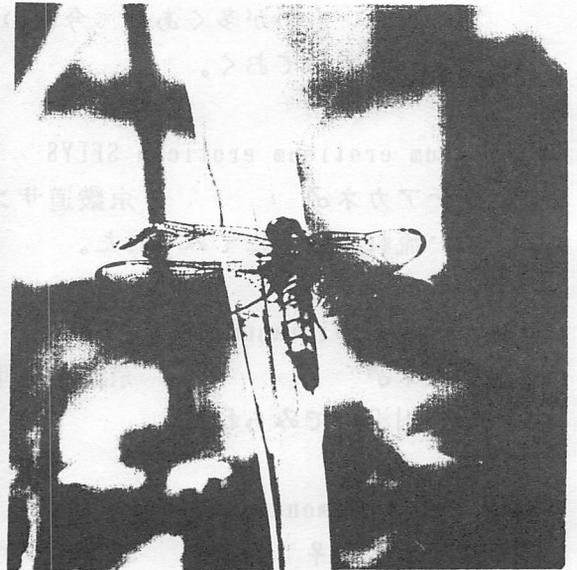
ウスバキトンボ 京畿道ソウル市



ショウジョウトンボ 京畿道ハド・クアム



オオシオカラトンボ 京畿道ソウル市



オオシオカラトンボ 京畿道ソウル市

